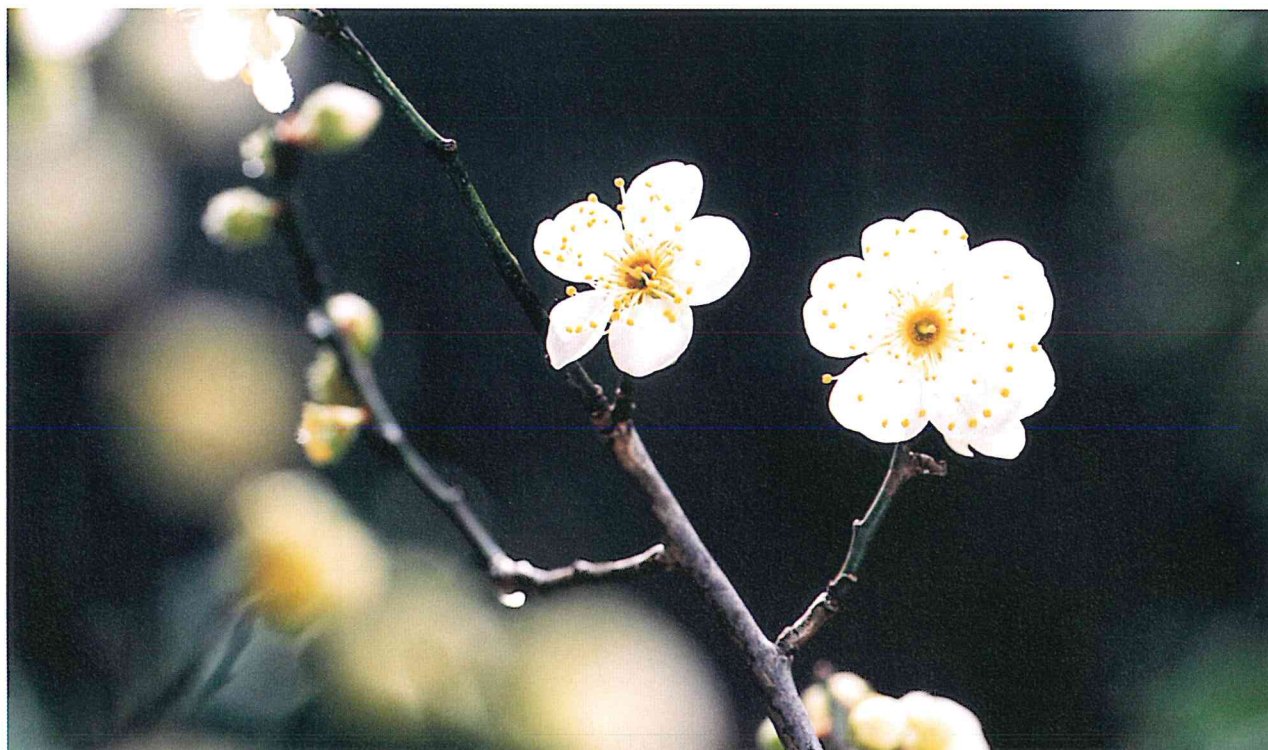




写真提供：青木和夫様（マザアス日野／特養居住者のご子息）

年頭に思うこと

新年明けましておめでとうございます。今年が皆様にとって明るく意義深い一年となることを願わずにはられません。昨年はオリンピックや大リーグでの日本人選手の活躍に狂喜したのもつかの間、台風や地震などの天災に泣かされた一年でした。加えて、国全体の経済・政治環境も必ずしも諸手をあげて喜んでいるだけではすまない状況が続いています。しかしながら、私達一人ひとりとしては、世相に流されたままではいけないと思います。

私見では、自分が大切にしている物にこだわりつつ、身近に関わっている人達と楽しく共に生きて行こうという気持ちを持ち続けることが出来るなら、そんなにひどい事にはなるまいと信じてやみません。

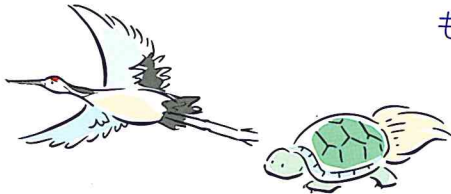
マザアス日野 施設長 今澤隆一郎

老人福祉をめぐる世界は、国家的な経済不況の影響をぬぐえず、コスト高やサービスの後退が囁かれています。しかし、私も高齢者の皆様にサービスを提供する者としては、その流れをいたずらに嘆いているわけにはいきません。今こそ、私自身への自戒とともに、次のことを福祉に関わる職員に問いかけ、共に考え合う年にしたいと考えています。

『私達はどのような使命・役割を担っているのでしょうか。その使命を全うするためにどうすれば良いと考えますか。本物の専門職としての成果を示すために、どのような取り組みが必要でしょうか。そして、本当のやりがいや今の仕事に見出すには、どうすれば良いのでしょうか。』



出身は、八王子市・
柚木。その後も周辺地域で
生活されていました。畑に加え、
水田も持っていたため農業
をしながら子育てな
さったそうです。



祝・日野市内最高齢！

特養居住者／金子マン様(明治31年11月27日生)

平成16年のお誕生日に、**106歳**になられました。日野
市内最高齢者として、市長から表彰を受けられた金子様。
これまでどんな人生を歩まれてきたのでしょうか？

昔は近所の方と『宝
引き(くじ引き)』を楽しん
たり、ゲートボールや民謡を習わ
れていたそうです。マザアス
でも時々炭坑節を披露し
て下さいます。

ご家族に長寿の秘訣
を伺ったところ『(家族に
も分からないが)マイペースに
言いたいことを腹に溜めず
に言うことかも』との
お話でした。



施設での生活もご本人の体調やペースに合わせ、ご負担のないように配慮しております。
今年も、金子様、そしてマザアスを利用される皆様が健康に過ごせますように…。
職員一同、皆様方の暮らしのお力になれるよう励んでまいります。

文化祭

H16.10/31~11/7
《どれにしようかしら?》



皆様の全国出身地マップ(お国自慢)が好評でした。
今年初の試みとして、シャツやスカーフを使ったしぼ
り染めを展示しました。作成中は、色やしぼる場所に
迷いながらも楽しまれ、完成品をご覧になった方から
は『私も作ってみたい』との感想が寄せられました。

【特養ケアワーカー 中村美穂】

貼り絵、絵画、陶芸、染物、刺し子、書道、革細工、
園芸療法……。力作揃いで、見応えのある文化祭で
した。作品の展示販売もあり、こちらも大盛況！
『来年は何を作ろうかしら』とお考えになっている方
もいらっしゃるようです。来年もどうぞお楽しみに☆

【デイケアワーカー 片岡孝司】

新潟県中越地震に伴う被災地老人福祉施設派遣についての報告

【デイサービスセンター マザアス多摩川苑／菅原義継】

昨年10月23日(土)新潟県中越地方を襲った震度7の地震から2週間後、東京都社会福祉協議会より介護職員派遣協力の依頼があった。派遣先の中から長岡市加津保町にある開設18年、定員100名・短期入所20名の『特別養護老人ホームかつぼ園』へ向かった。6日間の派遣期間を5～10人で1施設1班1チームとし、1施設7～9班ぐらいいまで組込まれていた。1班はすでに派遣先に向かっていたので、2班から合流することにした。かつぼ園の派遣メンバーは5名で、都内の老人福祉施設に勤める現場経験豊富な若手職員が東京駅に集合した。現地までは新幹線の不通により、越後湯沢駅で降り代行バスにて2時間かけ長岡駅に向かった。途中の関越自動車道も道がグニャグニャで、小千谷、川口町などを横目に通った時は、その震災の凄まじさを目のあたりにさせられた。かつぼ園は長岡駅より更にタクシーで30分の所にあり、そこまでの道のりも陥没や住宅の崩壊などが目に映った。



施設内ベランダ滑落



現地スタッフと共に



現地では、施設長・相談員より震災状況について説明を受けた後、施設見学を行なった。最初の地震では居室のタンスや棚が倒れるほどであったが、ちょうど夕食の配膳前で利用者が居室におらず食堂に一塊になっていた為、けが人が一人も出ず不幸中の幸いと話されていた。その日の夕食は摂れず、4日間の停電は本当に大変だったようだ。

派遣活動内容は、ショートステイ利用者の介護、特養入浴、食事、排泄介助、救援物資の整理等であった。派遣当日は近隣の住民も空き部屋、会議室等に避難している状況で、利用者の居室も4人部屋を5人で使用したり、食堂にマットやベッドを移動して20～30人寝泊りしている状況だった。食事は廊下等を使用し、食器も水が不十分であるため使い捨ての容器等を使用していた。派遣された翌日、早速震度5弱の余震が襲い、地震の恐怖を思い知らされた。特に加津保地区は8、9月の水害もひどかった地域らしく、そこにきた地震で精神的、肉体的にも疲れている様子であった。今回の派遣で様々な体験をし、勉強させていただいた。現地の皆さんが早く普通の生活に戻れることを願ってやみません。

現地で教わった震災時常備品！

- ①懐中電灯 (多いほうが良い)・両手の空くヘッドランプ
- ②電池を多量に
- ③キャンプ用ランタン
- ④2～3日分の食料 (種類が多いほうが良いとの事、3～4日すると救援物資が来るらしい)
- ⑤使い捨て容器・スプーン
- ⑥介助用としてポリタンクに水をためておくとの良い。

秋光祭を終えて

マザアス恒例の秋光祭が10月21日から24日の4日間開催されました。今年は、作品展示、模擬店などに加え、アトラクションとしてご当地ヒーローのクルメイザーも駆けつけました。ご協力頂いた皆様に大変感謝しております。



決めゼリふは、「君のピンチに駆けつける、正義の閃光、クルメイザー」

収支報告（収入の部）

喫茶売上	40,780
手作り販売売上	48,750
茶道売上	13,800
模擬店売上	110,900
フリーマーケット場所代	15,355
寄付金	69,000
合 計	298,585

（支出の部）

合 計	189,141
-----	---------

収支差額 109,444円



茅葺き屋根の民家につるし柿、縁側には日なたぼっこの猫、そして家の中にはこたつでお茶を飲んでいる老夫婦。皆さんは、秋光祭の作品展でこの「作品」をご覧いただけましたか。

どこか郷愁を感じ、見る人の心をなごませてくれる作品ができれば…そんな思いで作りました。

茅葺き屋根の部分は、実は新聞紙をこよりにして一本一本貼り付けて作ったものです。また、つるし柿は、紙粘土を丸めて和紙をペタペタと貼り、茎やヘタをつけて完成させました。作品が大きかったので、作業途中は何を作っているのかわからなかった利用者さんも、出来上がった作品を見て「いいわねえ」「この柿本物みたいね」とじっくり見て楽しんでいただいています。

デイサービス氷川台 副主任 池添明美



ビューティフルストライク こんなことやってます 茶道同好会

それは仕事のストレスもプライベートのイライラも10本のピンを倒せば全てが吹き飛ぶ！悩んでないで 投げてみて きっと何かがはじけるから

久米川ボウルにて月1回
PM8:00～PM11:00
月会費 500円
部長 佐藤（生活介護課）



マザアス施設内唯一の和室“ゲストルーム”を借りて、月2回茶道の稽古をしています。内容は主にお煎茶です。生活様式がどんどん変化して忘れられてしまった「和の心」を、改めて見つめ直してみる良いチャンスではないでしょうか。興味のある方は、特養ケア梅谷までご連絡ください。一緒に仕事の疲れを癒しましょう。



施設内研修

今年度、研修委員会において、各課より様々な研修の要望が集まりました。これにより各課ごとに研修を企画し、開催しております。

12月1日、6日の2日間、東久留米市消防署新川出張所の皆さんにご協力頂き、救急手当の基礎実技について研修会を開催しました。最近では、新潟での震災もあり救急手当については、とりわけ関心の高い話題になっております。実技を交えながらのご指導だったのですが、なかなか上手いかず、戸惑う職員も見受けられました。マザアスでは、こうした研修を通して利用者の方々へのサービスの充実を図っております。



救急手当基礎実技



ユニットケアへの取り組み

◇意見交換会

方向性を共通のものとするために「ユニットケアリーダー養成講座」のビデオを全職員で鑑賞し、後日意見交換会を行なった。



◇講演会「ユニットケアの目指すもの」

既にユニットケアで効果的な実践を行なっている宮城県仙台市にある特別養護老人ホームパルシアの施設長、折腹実己子氏をお迎えし講演会を開催した。

感想……………生活介護課副主任 矢島美由紀

ユニットケアを始めてから9ヶ月が過ぎました。始めた頃は準備万端とは言えず、どのようにして小グループケアを行っていけばいいのか模索しながらの毎日でした。寄り添える時間が増え、利用者さんにゆっくり関われるようになって、新たな一面を知ったり様々なサインに気付けるようになりました。私達ワーカーがすぐ近くにいることで安心して過ごされているのでしょうか。今回の講演で聴いたパルシアのユニットのスタートが、施設を作るところから始まっているということでマザアスとの差異はあるものの、利用者さんから逆に寄り添い方を学び教えられ、共に成長してきたという思いは同じだと思います。これからも職員が共通の意識を持ち、その方らしい生活を送っていただけるよう、「一人一人と向き合えるケア」を目指し、続けていきたいと思っています。

特別養護老人ホームマザアス東久留米では16年4月より「ユニットケア」を始めています。

つつじヶ丘3丁目 施設長もいっしょにティータイム



6つのユニットはそれぞれ町名で区切られています。

さくらヶ丘1丁目 こたつを囲んで暖かそう!!



職員研究発表会

東久留米

日時:平成17年2月24日(木)
18:30~20:30
場所:マザアス東久留米
3階地域交流ロビー



日野

日時:平成17年2月4日(金)
18:00~20:30
場所:マザアス日野
1階地域交流スペース

各課の研究成果を発表いたします。

ご利用者・ご家族の皆様、関係機関・地域の皆様、ぜひ足をお運び下さい。

編集後記

明けましておめでとうございます。今回初めてこの「ひだまり」の編集に携わったのですが、出来ばえはいかがでしょうか？

マザアスで仕事を始めて4年ほどなのですがこうした編集に関わると、また新たな発見があります。今年は開設10周年、この『ひだまり』を皆様に喜ばれるより良い刊行誌にしていきたいと思います。

関口乙彦

『ひだまり』を読む側から作る側となり、苦労を実感すると共に作る喜びもわかりました。

皆様に、楽しく読んでいただけるような、『ひだまり』にしていきたいと、思っております。

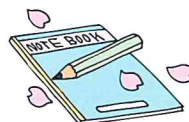
廣田典彦

今年、法人マザアスは10周年を迎えます。今までの10年を振り返り、自分自身のこれから先の10年を思うと、新たな気持ちで事に当たらねばと心に誓う今日このごろです。ひだまり編集の仕事も良い刺激になっています。

梅谷優子

私の好きな絵本に「くつやのまるちん」(トルストイ作・至光社)があります。仕事をする上で、大切な何かを教えてくれる本です。もう一度読み返し、今年一年新たな気持ちで働いていきたいと思います。

芳賀美知子(日野)



〒203-0004 東京都東久留米市氷川台2-5-7

特別養護老人ホーム マザアス東久留米

Tel 0424-77-7261 Fax 0424-77-7500

デイサービスセンター マザアス氷川台

Tel 0424-77-7263 Fax 0424-77-7500

東久留米市東部在宅介護支援センター

Tel 0424-73-9996 Fax 0424-73-9986

〒203-0004 東京都東久留米市氷川台2-6-6

ヘルパーステーション マザアス氷川台

Tel 0424-77-7260 Fax 0424-77-7500

グループホーム ひかわだい

Tel 0424-77-2150 Fax 0424-77-2150

居宅介護支援事業所 マザアス氷川台

Tel 0424-70-1740 Fax 0424-70-1740

〒203-0011 東京都東久留米市大門町2-10-5

デイサービスセンター マザアス大門

Tel 0424-70-0065 Fax 0424-70-8024

〒203-0032 東京都東久留米市前沢5-25-14

グループホーム たきやま

Tel 0424-77-1525 Fax 0424-77-1525

〒191-0024 東京都日野市万願寺1-16-1

特別養護老人ホーム マザアス日野

Tel 042-582-1661 Fax 042-582-1730

デイサービスセンター マザアス多摩川苑

Tel 042-582-1675 Fax 042-582-1730

ヘルパーステーション マザアス多摩川苑

Tel 042-582-1673 Fax 042-582-1730

居宅介護支援事業所 多摩川苑

Tel 042-582-1672 Fax 042-582-1730

在宅介護支援センター 多摩川苑

Tel 042-582-1707 Fax 042-582-1730

発行/社会福祉法人マザアス

〒203-0004

東京都東久留米市氷川台2-5-7

Tel 0424-77-7261

Fax 0424-77-7500

HP <http://www.moth.or.jp>

発行責任者/高原 敏夫

編集責任者/山崎 宣子